

平成26年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち							
環境保全項目		さわやかな空気と静けさを確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期進捗状況	担当課
1-1	21	騒音調査及び測定	騒音・振動・悪臭の防止	定期的な観測により、種類ごとに基準と比較し達成率を算出し、監視します。	市内一般環境、道路、新幹線について、騒音の状況を把握するため調査を実施する。この結果は、環境レポート等で公表していく。	一般環境については11地点、道路騒音については7地点、新幹線騒音については2地点。それぞれ基準と比較し、状況を把握する。	-	下半期に行う予定。	生活環境課
1-1	50	市営駐車場の管理運営	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	パークアンドライドを促進します。	快適に利用できる駐車場の管理運営	市営駐車場駐車台数 年 310,000台	-	お城口駐車場 44,269 温泉口駐車場 14,797 お城口第二駐車場 94,397 計 153,463	管理課
1-1	63	循環バス運行施策	1 きれいな空気の確保 1 環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	15 公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	「上田市循環バス」と「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	循環バス等利用者 目標60,000人	◎	コミュニティバスをはじめとした市内のバス交通が多目的に利用されるよう利用促進に努めた。 引き続き、課題等の把握に努めるとともに、利用啓発活動を進めていく。	地域交通政策課
1-1		地域鉄道の利用促進	1 きれいな空気の確保 2 環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	公共交通機関である地域鉄道の利用促進を図り、自家用車の使用の削減させます。	上田電鉄別所線としなの鉄道の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	上田電鉄別所線利用者 目標 1,200,000人	◎	別所線については、別所線電車存続期後同盟会を中心とした利用促進イベント等を開催し、利用促進に努めた。 しなの鉄道については、沿線市町で構成するしなの鉄道活性化協議会との連携により、利用促進に資する事業を実施した。	地域交通政策課

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち							
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期進捗状況	担当課
1-2	20	水質調査及び検査	きれいな水の確保	定期的な調査により、市内の水質の環境基準の達成について監視します。	市内河川及び地下水の調査地点について、水質状況を把握するため調査を実施する。この結果は、環境レポート等で公表していく。	河川については計35地点。地下水については計12地点。それぞれ環境基準と比較し、状況を把握する。	◎	予定どおり実施。	生活環境課
1-2	24	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進します。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設10基	◎		生活環境課
1-2	72	鉛給水管布設替え	安心安全な水道	鉛給水管の解消	鉛給水管布設替 計画修繕対応 650 故障修繕対応 102 計 752件	鉛給水管布設替個所数 752	◎	鉛給水管布設替 計画修繕対応 583 故障修繕対応 48 計 631件	水道課
1-2	73	公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と安全な土壌を確保	公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	・管きよ整備 L=1.6 km	・普及率97.2% (上田地域75.2%)	◎	・普及率は年度末に算出 ・管きよ整備は、L=約1.4km (竣工0.6km、施工中0.8km) 発注済	下水道課
1-2	74	浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	河川水の採水及び水質検査の実施	毎月1回、定期的に検査を実施する	◎	毎月1回、4/17、5/15、6/19、7/17、8/21、9/17に実施済み	浄水管理センター
5-1	69	水環境保全事業	水環境の保全	水環境の保全に関する意識の啓発を図る。	・水道週間イベント開催補助 ・うえだ環境フェア出展	上下水道事業を紹介し水環境保全のための啓発活動を行う。	◎	・水道週間にあわせて染塵浄水場の一般開放と内村ダム及び羅越浄水場の施設見学(バスツアー)を行い、水環境の大切さを説明した。 ・10月18日に開催される「うえだ環境フェア」に出展し、環境負荷低減の取組等を紹介するための啓発を行った。	経営管理課

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち							
環境保全項目		有害化学物質による汚染を未然に防止する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期進捗状況	担当課

平成26年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環境保全項目		森や里山を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期進捗状況	担当課
2-1	47	造林事業	森林の育成・保全	森林の育成・保全を図る	○森林の多面的機能や公益性を維持するため、継続的な間伐等の整備を行う。	○私有林間伐205haの実施	◎	現在、市内全域の12団地、面積182haについて山林所有者の同意を得る作業等について森林組合等が実施中です。	森林整備課
2-1	48	松くい虫防除対策事業	松くい虫被害を防除し、健全な松林を育てる	被害木伐倒薬剤処理 V=8,000m <sup>3</sup>	○松くい虫被害の拡大を抑制するため、被害木の伐倒駆除の実施	○被害木7,100m <sup>3</sup> の伐倒処理	◎	9月末までにV=3,282m <sup>3</sup> の伐倒駆除を実施(目標値の46.2%)	森林整備課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期進捗状況	担当課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環境保全項目		農環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期進捗状況	担当課
2-3	45	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 26年度目標 80ha	◎	円滑化事業による権利の設定は概ね順調である、新制度である農地中間管理事業は事務準備をすすめた。	農政課
2-3	107	荒廃農地の再活用	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	農地の再生利用の促進	補助金交付により再生が実施される面積 26年度目標 10ha	○	事業実施要望が減少していることから地域の推進員を通じ情報収集と啓発を進めた。	農政課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		循環型社会の形成に努める							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標 (どの水準まで)	評価	上半期進捗状況	担当課
3-1	32	生ごみ堆肥化事業	循環型社会の形成に努める	循環型社会の形成に努める	1 生ごみ堆肥化モデル事業 2 ごみ減量化機器等購入費補助事業	1 乾燥生ごみによる堆肥化の実証実験に着手 2 ごみ減量化機器利用者の増加 3 1人当たりのごみ排出量の減少	◎	1 生ごみ堆肥化モデル事業 ・小中学校6校、保育園1園(新規)から生ごみを回収し、試験施設で堆肥化 ・堆肥化実績 3.8t(昨年同期比0.4t増) 2 ごみ減量化機器等購入費補助金 ・広報うたなど補助制度を周知 ・補助実績(確認、処理機) 109台 ※ 実績数値 は9月末現在 3 1人当たりの1日のごみ排出量(可燃) ・減少傾向で推移している 実績 6	廃棄物対策課
3-1	33	市民協働による環境にやさしい地域の創造	循環型社会の形成に努める ・環境にやさしい人をはぐくむ	資源循環型社会の形成に向けた意識の高揚	1 エコハウスの運営 2 ごみ減量アドバイザーの活動	1 エコ・ハウス来館者数 2,000人以上 2 新たなごみ減量アドバイザーの委嘱 研修及び実地等による人材育成	◎	1 エコハウスの運営 ・各種講座の開催、情報発信(随時) ・「古着回収」(毎月1回) 回収実績 11.11t(9月) 未現在 2 ごみ減量アドバイザーの活動 ・啓発活動は随時実施 ・ごみ減量化機器使用状況調査を実施	廃棄物対策課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち																																							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する																																							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標 (どの水準まで)	評価	上半期進捗状況	担当課																																
3-2	5	地域環境保全活動の推進	自然環境の保全と生活環境の改善	塩田地域における環境保全に向けた取り組みと啓発	主に自治会単位ごとに環境保全活動を実施。地区自治会連合会他、諸団体や行政と連携して活動を推進。	数的目標を立てることは、難しいが、環境目標に向けた取り組みが自治会を通して市民意識の高揚に反映できることを目標とする。	◎	予定した事業は、計画どおり実施されている。	塩田地域自治センター																																
3-2	7	クールビズの実施による省エネルギー行動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまち	地球温暖化防止活動を推進する	クールビズ(ノーネクタイ、軽装勤務の励行)による、適正な空調利用の促進	実施により職員及び来庁する市民の環境に対する意識の向上を図る。	◎	5月19日から10月17日まで実施中。	人材開発課																																
3-2	15	庁舎管理	地球温暖化対策	地球を守る	・電気使用量の削減 ・燃料使用量の削減 ・コピーの使用枚数の削減	・前年度の使用量より削減	◎	上半期の使用量の比較 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>34,597</td> <td>33,828</td> <td>-769</td> </tr> <tr> <td>灯油</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>7,275</td> <td>6,017</td> <td>-1,258</td> </tr> <tr> <td>A重油</td> <td>18,000</td> <td>12,000</td> <td>-6,000</td> </tr> <tr> <td>都市ガス</td> <td>11,783</td> <td>10,160</td> <td>-1,623</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>701,652</td> <td>678,310</td> <td>-23,342</td> </tr> <tr> <td>コピー</td> <td>10,168</td> <td>10,550</td> <td>382</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	増減	ガソリン	34,597	33,828	-769	灯油	0	0	0	軽油	7,275	6,017	-1,258	A重油	18,000	12,000	-6,000	都市ガス	11,783	10,160	-1,623	電気	701,652	678,310	-23,342	コピー	10,168	10,550	382	公有財産管理課
	25年度	26年度	増減																																						
ガソリン	34,597	33,828	-769																																						
灯油	0	0	0																																						
軽油	7,275	6,017	-1,258																																						
A重油	18,000	12,000	-6,000																																						
都市ガス	11,783	10,160	-1,623																																						
電気	701,652	678,310	-23,342																																						
コピー	10,168	10,550	382																																						
3-2	16	税務業務の効率的運営	eL-TAXサービスの拡充の取り組みとエコオフィスの推進	eL-TAXサービスの拡充による業務の改善及び市民サービスの向上とエコオフィスの推進	利用事業主、税理士への通知の送付や広報うた、市のホームページ・行政チャネル等を活用したeL-TAXの利用推進。	申告におけるeL-TAXサービスの利用件数割合 法人市民税 50% 給与支払報告書 33% 償却資産 12%	◎	・法人市民税の決算申告や中間申告の際に事業所にeL-TAXを利用するよう周知している。 4月～8月のeL-TAXサービスの利用件数 法人市民税 1,531件 給与支払報告書 104件 償却資産 10件 国税連携 5,958件	税務課																																
3-2	22	太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	太陽光発電システム設置費補助 500件 太陽熱高度利用システム設置費補助 20件	◎		生活環境課																																

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標(どの水準まで)	評価	上半期進捗状況	担当課
3-2	27	上田市関係機関からの温室効果ガス総排出量の削減	地球温暖化防止活動を推進する	エコオフィスうだの推進	・「第三次上田市役所地球温暖化防止実行計画」の推進を図る。 ・長野県に「温室効果ガス排出抑制計画」を提出し、推進を図る。	市の事務事業の遂行に伴い排出される温室効果ガスの排出量を、第三次の目標年度である平成29年度までに平成23年度を基準として、1.0%削減。	◎		生活環境課
3-2	34	市営住宅の管理	①環境負荷の低減(口座振替の推進、入居者への環境啓発)	事務事業の効率化と環境啓発	①全入居者通知の機会(年2回)に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 87.10%以上	○	6月に全入居者に送付した通知に「節電、節水を呼びかける言葉」を刷り込み、環境啓発に努めた。 口座振替率については、入居説明会の際に奨励を行った結果、新規入居者は100%となった。全体では、9月末現在87.3%である。	住宅課
3-2	39	太陽光発電設備の設置	新エネルギー事業の推進及び環境教育の推進	公共施設における太陽光発電の導入を促進し、併せて環境意識の啓発を図る	保育施設の改築建替に伴って太陽光発電設備設置を検討する	神科第一保育園建替事業の建設において、当該設備を設置する。	◎	神科第一保育園建替事業で基本設計において、太陽光発電設備の設置方針を確認したが、その後、生活環境課からの要請もあり、屋根貸しによる太陽光発電設置に方針が変更となった。現在、屋根貸しについて建築課と協議中。	保育課
3-2	43	池波正太郎真田太平記館の管理運営	①利用者への環境啓発 ②エコオフィスの推進(一人当たりの電気・水道量等の削減)	電気等の節減と入館者数の増加(環境啓発とエコオフィスの推進)	①環境啓発に関するポスター等の掲示 ②入館者増加により、一人当たりの光熱水費の抑制 ③光熱水費の節減(節電の徹底、施設内の適正な温度管理) ④来館者向け環境啓発の具体的な取組み検討	①②入館者数年間3万人以上。一人当たりの電気量5kwh以下。	◎	上半期(4月～9月)は、風間完生誕95年及び大坂の陣400年を記念した企画展を開催したことで多くの入館者があった。一人当たりの電気量4.09kwhで目標を達成。 【4月～9月】入館者数17,486人、電力使用総量71,439kwh	池波正太郎真田太平記館
3-2	78	給食業務の環境への取り組み	食品廃棄物の抑制と再利用	環境にやさしく、安全で安心なおいしい給食づくり	①食品残渣減少の取り組み(残菜調査、学校訪問、児童・保護者へのPR) ②食品残渣の飼料としての利用 ③地元農産物の使用 ④BDF燃料の使用量	①② 食品残渣の発生量 地元産農産物の使用量 ④ BDF燃料の使用量	◎	センターへの施設見学は6校(307名)、PTAの試食会は10回、6校(290名)実施。 学校訪問は1・2年生を対象に5月～6月、センター職員(延べ60人)ですべての学校に訪問した。 毎月1回の指導委員会を開催。残渣量・BDF燃料・地元産野菜の使用量は順調に進んでいる。	第二学校給食センター

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地域資源を有効利用する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標(どの水準まで)	評価	上半期進捗状況	担当課
3-3	23	雨水貯留施設設置補助	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進めます。	雨水貯留施設設置費補助	30件	◎		生活環境課
3-3	66	施設建設事業	資源を活かした公共工事を推進する。	建設工事にあたり、環境に配慮した計画・設計及び工事施工に努める。	1 計画・設計における環境配慮 2 工事施工における環境配慮	別紙様式G 1のとおり	◎	上半期において実施設計6件及び工事32件を発注し、環境へ配慮した設計及び施工に努めている。	建築課

平成26年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすま								
環境保全項目		歴史・文化を未来に引き継ぐ								
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標 (どの水準まで)	評価	上半期進捗状況	担当課	
	4-1	95	文化財の保存・整備	指定文化財の保存・整備に努めるとともに指定文化財の増加に努める。	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成	指定文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録の推進	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への2件以上の登録	○	昨年度の指定物件の継続審議分については、調査の進展次第文化財保護審議会を開催。	文化振興課
	4-1	98	博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①博物館講座ほか左記のとおり ②観覧券・しおり・ポスター・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	◎	・来館者は、4月から9月までに41,329人であった。 ・教室等も予定どおり実施されている。	博物館
	4-1	99	博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①茶道教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	◎	・来館者は、4月から9月までに2,091人であった。 ・教室等も予定どおり実施されている。	武石ともしび博物館
	4-1	100	記念館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①美術教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	◎	・来館者は、4月から8月までに14,566人であった。(開館は8月までで閉館) ・教室等も予定どおり実施された。	山本県記念館
	4-1	101	信濃国分寺資料館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	①歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出 ②環境にやさしい施設運営(リサイクルを推進し廃棄物の減量を図る)	①史跡見学会ほか左記のとおり ②公園の剪定された樹木のチップ化、落ち葉の腐葉土化など	①来館者数 ②リサイクル率100%	◎	・樹木のチップ化も100%である。 ・入館者は、4月～9月までに3,037人。 ・講座も予定通り開催している。	信濃国分寺資料館

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすま								
環境保全項目		緑あふれるまちをつくる								
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標 (どの水準まで)	評価	上半期進捗状況	担当課	
	4-2	58	公園の整備	緑あふれるまちをつくる	公園の整備を促進する。	・市民緑地広場駐車場整備工事 A=14,200㎡(繰越明許) ・市民緑地広場整備工事 A=13,200㎡(繰越明許) ・市民緑地広場舗装工事 A=9,200㎡ ・上田城跡公園バリアフリー化工事 園路舗装 L=609m(繰越明許) ・上田城跡公園バリアフリー化工事 園路舗装 L=309m	旧上田地域の一人当たり都市公園面積を13.29㎡/人とする。	◎	・市民緑地広場駐車場・市民緑地広場整備工事ともに工事を完了し、一部供用を開始した。 ・市民緑地広場舗装工事は6月に契約が締結され、開館記念式典後から着工予定 ・上田城跡公園バリアフリー化工事は繰越分が4月に完了し、現年度分については入札準備中	公園緑地課
	4-2	60	花と緑のまちづくり推進事業の実施(1)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の種銀行 口座開設者数 792人 ① ・種から育てる花づくり講習会の開催3回 ②③④	・花の種銀行会員数(延べ口座開設者 792人) ・花づくり講習会 開催回数 年間3回	◎	・花の種銀行 口座開設者 801人① ・種から育てる花づくり講習会の開催2回(5月、9月)	公園緑地課
	4-2	59	花と緑のまちづくり推進事業の実施(2)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	花苗配布 135,000本 ①	地域自治会等に配布する花苗本数(135,000本)	◎	・夏苗の配布74,177本①	公園緑地課
	4-2	61	緑地の保全(染屋台グリーンベルト保全事業)	緑あふれるまちをつくる	緑地の保全	里山整備ボランティア 年6回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している染屋台グリーンベルトを環境保全(地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和)の面から積極的に保全を必要があることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。	◎	・5月から9月まで毎月1回、計5回里山整備を実施した	公園緑地課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすま								
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ								
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標 (どの水準まで)	評価	上半期進捗状況	担当課	
	4-3	51	放置自転車の撤去及び処分	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	上田駅周辺の放置禁止区域における自転車等の駐車をなくします。	放置禁止区域における警告書の貼付	放置自転車撤去件数 年400台以下	◎	撤去件数 95件	管理課
	4-3	56	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発をします。	景観ウォッチングの実施 2回	景観ウォッチングの実施回数(2回)	◎	上半期において景観ウォッチングの計画を立案し、今年度1回目を、10月18日(土)に実施する予定である。	都市計画課

平成26年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち															
環境保全項目		環境にやさしい人を育む															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標 (どの水準まで)	評価	上半期進捗状況	担当課								
5-1	6	地域福祉の調整及び推進に関すること	環境教育の推進	地域内の住民や各種団体に向けた環境啓発等の推進	①毎水曜日のリサイクル回収(ビン・缶)時の啓発。 ②地域協議会における地域(環境)課題に対する対応。 「わがまち魅力アップ応援事業」の受付 ③自治会要望の取りまとめと本庁との調整(環境関連) ④窓口での転入者等へのゴミ回収等の指導	①リサイクル回収の回数 ②環境活動や啓発の数等	◎	①リサイクル回収について、立会うことができないため、回収場所に、文書等の掲示をして、違反の注意や啓発を行なった。 ②わがまち魅力アップ応援事業について、適切に受付を行なった。 ③9月提出の自治会要望について取りまとめを行い、関係課と調整を行った。 ④窓口で転入手続された方に、ゴミ回収についてのパンフレットを渡し説明を行なっている。	川西地域自治センター								
5-1	38	環境にやさしい保育園づくり	環境教育の推進	保育園での環境教育・環境活動を推進し、環境に対する意識啓発を図る	「ぼっくん」を使い、生ごみを土に還す事を環境教育として推進する。	搬出ゴミの減量 堆肥として菜園等での利用 園児・保護者が興味を示すこと	◎	各保育園・幼稚園で「ぼっくん」を活用して環境教育を行っている。	保育課								
5-1	84	各種講座・里山づくり支援	環境教育の推進	環境に対する市民の意識を高揚する。	里山地帯の地域づくり講座等12回、花と庭づくり教室8回、里山で自然遊び体験6回、自然に親しむ講習会1回	成人教育及び青少年教育において、環境に関する講座を開催し、環境への意識を高める。	◎		西部公民館								
5-1	85	公民館各種講座事務	環境教育の推進	自然観察をテーマとする講座を開催し、市民の環境問題に対する意識の啓発を図る。	自然観察をテーマとした講座の開設：4講座 「公民館だより」を中心に参加者を募集 その他環境関係に関する講座の開催	昨年度より開催講座数を増やす。 参加者の意識の向上を図る。	◎	現時点で3講座を開催した。参加数も抽選になるほど多く、関心の高さが伺える。	城南公民館・解放会館								
5-1	86	公民館各種講座事務	環境教育の推進	自然観察をテーマとする講座を開催し市民の環境問題に対する意識の啓発を図る。	自然観察講座 4回、野鳥観察講座 2回 風穴講座 4回、水生生物観察講座 1回 わいわい塾(工作教室 3回、自然体験、エネルギーショー)工作教室 1回、暮らしイキキ講座 4回	青少年、成人教育で環境に関する講座を開催し、環境に対する意識を高める。	◎	各講座をほぼ予定通り実施しました。ただし水生生物観察講座は実施しなかった。	上野が丘公民館								
5-1	94	文化芸術振興事業	文化芸術振興事業に伴う環境配慮	市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載 チラシ・パンフレット等の印刷物に、古紙・大豆インク使用のマークを記載	◎	「上田城跡能」のチラシ、パンフレットに再生紙及び大豆インクを使用した。	文化振興課								
5-1	102	各種大会時のごみ減量の啓発	ごみ減量の促進	ごみ減量の啓発	各種大会等	各種大会時ごみ減量の啓発	◎	スポーツイベントにおいてごみ減量の啓発を行った	スポーツ推進課								
5-1	103	自然を守り、環境美化活動	自然を大切に、環境にやさしい人を育む	利用者への環境啓発	1、周辺の森林下草刈で、樹木の活性化。 2、環境美化啓発。 3、利用しやすい施設及び環境づくり。	①利用者数。 ②水道使用量。 ③灯油量削減。	○	26年度上半期の状況(4月～9月) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成26年</td> </tr> <tr> <td>①利用者数</td> <td>48,401</td> </tr> <tr> <td>②水道使用量</td> <td>29,791</td> </tr> <tr> <td>③灯油量</td> <td>0</td> </tr> </table>		平成26年	①利用者数	48,401	②水道使用量	29,791	③灯油量	0	自然運動公園管理事務所
	平成26年																
①利用者数	48,401																
②水道使用量	29,791																
③灯油量	0																
5-1	104	環境への負荷の低減に係る啓発事業	利用者への環境負荷低減活動の啓発	エコオフィスうえだ推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に自然運動公園管理施設のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う。	施設利用者数 (目標 90,000人以上)	○	上半期利用者数 48,401人	自然運動公園管理事務所								

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境にやさしい地域を育む							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標 (どの水準まで)	評価	上半期進捗状況	担当課
5-2	1	自治会関連事務	環境にやさしいまちづくり	自治会定期送達各課個別配布は、極力広報うえだに掲載し、各戸配布を回覧にするよう指導する。また、必要回覧数と配布数を常に把握、周知徹底することによる無駄の排除。	1 月2回の庁内への周知徹底 2 配布数、回覧数の変更報告受付 3 配布数、回覧数の庁内周知徹底	◆自治会へ配布する回覧・配布文書数の把握と一覧表の作成及び、担当課への周知徹底の実施。	◎	・各自治会への回覧・配布文書の把握 【上半期】各戸配布【増】3冊【減】10冊 回覧数【増】14冊【減】1冊 その他【増】10冊【減】1冊 注 追加配布は、緊急等必要性が高い場合認め、なるべく回覧版にするよう指導している。	市民参加・協働推進課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境活動を発信する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標 (どの水準まで)	評価	上半期進捗状況	担当課

平成26年度 環境目的及び目標一覧（丸子・真田・武石地域）

作成日 平成27年2月26日

環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の進捗状況	担当課
5-2	1	丸子地域自治センターだよりの発行	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「環境を思いやる人があふれるまち」を実現するため、自治センターだよりに環境保全に関する情報を掲載し啓発を行います。	丸子地域自治センターだよりの発行 ※環境保全に関する情報を掲載する。	各号に環境情報を掲載 (計6回)	◎	計画どおり遂行している	丸子地域振興課
5-2	2	わがまち魅力アップ応援事業	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「自然・生き物・人が共生するまち」を実現するため、自治会や市民団体が行う環境保全活動等を支援・協力します。	わがまち魅力アップ応援事業の実施	実施団体目標 9団体	◎	第1回目の申請で目標は達成でき、現段階で13団体となっている。今後更なるPRによって実施団体を増やしたい。	丸子地域振興課
3-2	3	グリーン購入の実施	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくりを行う	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、グリーン購入率を高めます。	物品調達におけるグリーン購入の推進	物品調達におけるグリーン購入率を72%以上とする	◎	・H26上半期 72.3% (H25前期比 63.3% +9.0%) ・前年同時期と比較すると9%の増加であり、年度目標を達成している。下半期も引き続きグリーン購入を推進し、購入率のアップを図る。	丸子地域振興課
3-2	4	消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の1.5%減 (306,808kwh)	◎	・エレベータの休日停止 (H22から継続中) ・エレベータの平日夜間 (18時～7時) 停止 (H23から継続中) ・5/15の丸子地域掲示板にて、就業時間後は不使用電灯、電気器具等の電源スイッチを切るよう告知。 ・H26上半期電気使用料 137,297kwh (H25前期比 141,159kwh △3,862kwhz (△2.7%))	丸子地域振興課
3-2	5	丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	前年度実績の0.5%減 (29,532kg)	△	・H26上半期 15,300kg (H25前期比 15,160kg +140kg (+0.9%)) ・5/15の丸子地域掲示板にて可燃ごみの削減、ゴミの分別 (リサイクル雑誌紙等で排出し可燃ごみを削減) の徹底を実施したが達成できないため、下半期早々に再度丸子地域全職員に通知する。	丸子地域振興課
3-2	6	集中管理車のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、ガソリン及び軽油の使用量の削減を目指します。	集中管理車11台のガソリン及び軽油の使用量の削減	平成23年度実績の±0.0%	◎	・平成26年度上半期車両燃料使用量削減状況 (4月～9月) ガソリン 1,651,450 (H25前期比 1,925,320 △273,870 (△14%)) 軽油 2,961,900 (H25前期比 3,404,440 △442,540 (△13%))	丸子地域振興課
3-1	7	丸子地域消費生活展の開催	循環型社会の形成に努める。環境にやさしい地域をばぐくむ。	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努める。	丸子地域消費生活展の開催 (委託) 11月15日 (土) 開催予定	来場者予定数 600人 アンケートによる来場者満足度 90%以上	◎	8月22日 第1回実行委員会開催 9月1日 第1回役員会開催 9月5日 第2回実行委員会開催 10月20日 第2回役員会開催 予定 10月24日 第1回全体会議開催 予定 11月15日 丸子消費生活展開催 予定	丸子市民生活課
4-3	8	犬猫の糞尿害対策	調和のとれた美しい景観を保つ	犬猫の糞尿害に対する対策を推進する。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼 (随時)	苦情件数 10件以下	◎	4.6.9月に犬猫の正しい飼育方法についてチラシを自治会回覧した。 苦情件数 3件 (訪問指導・看板設置)	丸子市民生活課

平成26年度 環境目的及び目標一覧（丸子・真田・武石地域）

作成日 平成27年2月26日

環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の進捗状況	担当課
3-2	9	防犯灯修繕(LED化)補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	地域内の全防犯灯を平成23年度から5年計画でLED照明へ交換する。	申請に対する補助金の交付	防犯灯のLED照明への交換(543基/2,469基)	◎	本年度配分数 26自治会543基 交付決定済数 26自治会543基 実績報告件数 25自治会484基	丸子市民生活課
1-2	10	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置2基	◎	上半期交付決定数1件	丸子市民生活課
4-3	11	上田市ポイ捨ての防止等に関する条例に基づく環境美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て等防止条例に基づき環境美化活動を推進する。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 4班月3回 延べ144回 不法投棄ごみの量 6,600kg (H25の20%削減)	◎	パトロール回数 69回(目標72回) 不法投棄ごみの量 3,870kg (目標の17%超)	丸子市民生活課
4-3	12	ゴミゼロ運動の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回)5/26(日)丸子地域は自治会ごとに実施 ポイ捨て・不法投棄等の収集	参加人数5,000人	△	参加人数 2,087人(ゴミゼロ運動期間4月1日～6月1日の参加人数)	丸子市民生活課
4-3	13	河川パトロール・清掃の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	河川パトロール及び河川清掃(依田川・内村川・塩川沢・矢ノ沢)年2回	河川パトロール・清掃実施(春・秋の年2回、参加6団体)	◎	第85回春の河川パトロール5月22日(木)実施参加6団体23名参加	丸子市民生活課
3-1	14	ごみ減量化機器等購入費補助事業	循環型社会の形成に努める	ごみ減量化機器等に関する補助や情報提供を進める。	ごみ減量化機器等の購入に対する補助金交付	補助金交付件数 40件	○	補助金交付件数14件(目標20件)目標の70%到達	丸子市民生活課
3-1	15	資源物回収用具収納施設設置費補助事業	循環型社会の形成に努める	資源物回収用具設置に関する補助や情報提供を進める。	資源物回収用具収納施設設置に対する自治会への補助金交付	補助金交付件数 1件	◎	1件交付(海戸自治会)	丸子市民生活課
3-2	16	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)施設補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	補助金交付件数 120件	△	39件(目標60件)目標の65%到達	丸子市民生活課
3-3	17	雨水貯留施設設置補助事業	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める。	雨水貯留施設に対する補助金交付	補助金交付件数 12件	◎	交付件数6件(目標6件)	丸子市民生活課
3-2	18	市民生活課所有車の燃料使用の抑制	市民生活課における地球温暖化防止活動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくり	市民生活課が所有する全庁用車12台のガソリン、軽油使用量の削減(平成23年度、住宅部門単独で設定した事業を、24年度から課全体に拡大)	・ガソリン(10台分)使用量…昨年度から1%削減 上半期 1,600ℓ <sub>2</sub> 年度末 2,918ℓ <sub>2</sub> ・軽油車(2台分)使用量…昨年度から1%削減 上半期 1,004ℓ <sub>2</sub> 年度末 2,179ℓ <sub>2</sub>	◎	ガソリン 1,479リットル 軽油 953リットル	丸子市民生活課

環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の進捗状況	担当課
5-1	20	隣保館事業の実施	環境にやさしい人をはぐくむ	住民の環境に対する意識の啓発を図る。	①隣保館事業参加者に対する環境啓発 ②「花を楽しむ会」で館周辺の花壇の花植えと寄植えを行う。 ③エコ料理教室を開催する。 省エネ等エコ生活への呼びかけをし、イベントを通じ市民への環境啓発を図る。	①隣保館事業の開催数 95回 ②参加者数 20人 ③教室参加者数 10人	◎	①隣保館事業開催時に意識啓発を図る。 ・パソコン講座ほか59回開催（目標の62.1%） ・解放センターだより「彩り」に【チャレンジ25】のロゴ掲載（6回発行） ②6/20（金）実施 参加者29人。 ③6/7（金）実施 参加者14人。 ・エコ料理教室は、1.おいしいこと。2.見た目もおいしそうなこと。3.その上にエコをプラスする。4.ガスや電気のエネルギーを節約。5.ゴミをできるだけ少なく。6.材料や水をむだなく使う。を学び実施できた。	丸子市民生活課
3-2	21	環境保全事業	地球温暖化防止活動を推進する	ISO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し、事業者を支援する。	工業3団体への説明会の実施。 団体会員への取得支援の情報を年2回以上情報提供する。	1社以上の取得を目指す。	◎	各種団体の総会・セミナー等で情報の提供を実施した。	丸子産業観光課
2-2	22	① 多自然型水路整備	1 自然・生き物・人が共生するまち	① 農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。	① 実績数値による。	◎	・関係自治会と工法等検討し、発注準備中	丸子産業観光課
4-2	23	花いっぱい運動参加者の増加	緑あふれるまちをつくる	住民参加により地域内の道路沿線等の緑化を図る	1 住民参加のための施策検討①②⑤⑧ 2 住民参加による緑化③④⑥⑦⑨⑫ 3 住民環境啓発⑩⑪⑫	②新規団体受付、植栽場所検討 ③住民による花苗植栽 3,000人 ⑥コンクールへの参加 ⑦球根植栽団体 ⑩講習会への参加	◎	4月 ①②参加団体へ配布する花の調整、受付 丸子地域花いっぱい運動参加団体：71団体、会員：3,279名 6月 ③参加団体への花苗の配布：9種類17色、植栽 7月 ④花と緑のまちづくりデザイン事業実績報告書の提出 ⑤「上田市花と緑のまちづくりコンクール」の参加呼びかけ 丸子地域花いっぱい運動団体からの応募 9団体 団体部門 50㎡未満）4団体、（50㎡以上）4団体 個人部門 0名、学校部門 1校 9月 ⑥花づくり講習会の開催一昨年度のアートで試験的に野菜（白菜）で開催、修学館高校農園 3団体：8名参加 ⑦秋植え球根の配布→10月に変更	丸子建設課
4-2	24	住民参加による花壇管理	緑あふれるまちをつくる	市民が丸子ベルパーク内の花壇を管理することで、市民主導による地域内の緑化推進を浸透させる。	1 ボランティアによる花壇管理	ボランティア参加者 190人	◎	4月 ①丸子ベルパーク花壇の花苗配置と本数確認 植栽計画作成 6月 花苗頒布作業のボランティア（延人数29名） 6月 ②丸子ベルパーク花壇への植栽 1,692本（参加者15名） ベチニア（252本）、ササヅク（144本）、金魚草（288本） マロウ'ル'（360本）、日々草（288本）、千日紅（360本） 7月 「まるこ花と緑の会」視察研修（参加者11名） 富士見高原リゾート「花の里」、シミック八ヶ岳家用植物園 6月～9月 ③丸子ベルパーク花壇管理 「丸子花と緑の会」 合計30回（参加者75名） 「まるこ福祉会」合計10回（参加者48名）	丸子建設課

平成26年度 環境目的及び目標一覧（丸子・真田・武石地域）

作成日 平成27年2月26日

環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の進捗状況	担当課
1-2	25	排水設備の普及促進	きれいな水と安全な土壌を確保する	下水道の早期接続	・下水道の早期接続の戸別訪問 ・郵送による普及促進活動	・新規接続戸数 60戸 ・水洗化率 90.0%	◎	新規接続件数 丸子 54戸	丸子上下水道課
1-2	26	漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 地区別漏水の委託調査 重点地区の漏水調査	本年度有収率70%台へ上げる	◎	漏水調査を委託し現在調査中 9月末の有収率は69.39%です	丸子上下水道課
1-2	26	浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常0.8mg/L以下 末端給水栓水 通常0.1mg/L以上 ②検査回数	◎	9月まで予定通り水質の管理が出来ている。	丸子上下水道課
3-2	27	給食計画及び献立作成/物資の購入/給食の調理及び配送	循環型社会の形成/農環境を守り・親しむ/地球温暖化防止活動の推進	①地産地消の推進、②給食残渣の再利用、③廃油の再生利用、④BDFの使用	①地産地消の推進 ②給食残渣の再利用 ③廃油のBDF活用 ④配送車燃料としてBDF使用	①地産地消の推進 地元産食材使用割合 45% ②給食残渣の再利用 継続実施 ③廃油のBDF活用 継続実施 ④配送車燃料としてBDF使用 108ℓ	◎	①上半期利用率44.3% ②地元業者に家畜飼料として再利用を依頼している。 ③廃油を定期的に事業者へ搬送 ④上半期162ℓ使用	丸子学校給食センター
3-2	29	丸子文化会館施設管理運営事業	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまち	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。<事業周知時における呼びかけ>	・住民環境啓発		◎	※丸子公民館・丸子文化会館で行った社会教育事業の際に ①開催通知に乗り合わせの呼びかけを記載した。 ②館内に啓發文書を掲示し周知した。 ③開催時、口頭で周知した。	丸子地域教育事務所
5-1	30	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	環境教育の推進	・6月の環境月間に、展示コーナーに環境関係の本とパネル（環境保全協会から借用）を展示し、市民に啓発する。 ・11月頃本のリサイクル市を行い、除籍になった本の有効利用を図る。	・分野ごとに展示するなど見易さ、借り易さの工夫をする。 ・リサイクル図書の入替えを行ない本の活用を図る。	◎	6月の環境月間に合わせて6月4日から28日まで、ポスターを掲示し、児童コーナーと一般コーナーに関連本を設置 7月の信州山の日にあわせて一般コーナーに関連本を設置	丸子図書館
3-2	31	移動図書館車の運行	地球資源を活かし地球にやさしいまち	あおぞら号の利用冊数の向上を図る。	移動図書館車の運行（丸子・武石地域、年間約150日運行）	貸出冊数 21,000冊	◎	4月～9月まで移動図書館車の運行（丸子・武石地域、76日） 貸出冊数 10,954冊	丸子図書館
4-3	36	アレチウリ、ブタクサ駆除	自然保全・活用	真田地域全域でアレチウリ、ブタクサ駆除活動を推進します。	アレチウリ、ブタクサ駆除の実施	地域内の河川、公共道路の一斉駆除 私有地の所有者への駆除指導	◎	全市民のアレチウリ一斉駆除日を6/29[日]に設定し、真田地域の自治会では5自治会が実施し、都合で外の日に11自治会が駆除に取組み、945人の参加で約77kgを駆除した。私有地への駆除指導は広報等により実施し、空き地苦情に合わせ、土地管理者本人へも直接指導した。	真田市民生活課

平成26年度 環境目的及び目標一覧（丸子・真田・武石地域）

作成日 平成27年2月26日

環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の進捗状況	担当課
	2-2	38 多面的機能 支払制度	農地の有する 緑地機能、環 境機能の保全 を図る	水路、農道等を含め、農地 を農地として維持すること により発揮される、国土の 保全、水源涵養、景観形成 等の多面的機能を支える活 動組織を支援する	平成26年度からス タートする日本型直 接支払制度（多面的 機能支払制度）の活 動組織の設立のサ ポートを行い、地域 資源の多面的機能が 適切に発揮されるよ う、バックアップす る	希望する団体に対し説 明会を行い、3つの組 織を立ち上げる。	○	希望団体へ農地、関係者等の資料 を提供。 赤井地区、9月12日組織設立。 碓氷地区で説明会を開催。 事業の制度に5年間の縛りがあるこ とから、団体側が時間をかけて慎重 に進めている。	真田産業 観光課
	2-3	39 担い手への 農地の利用 集積による 優良農地の 確保	農地の保全・ 活用	農地の保全・活用を図る。 (数値目標 平成26年度 10ha)	担い手農家への農地 の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励 金対象面積 25年度末 8.6ha →26年度目標10ha	◎	公告するため、提出 のあった農用地利用 集積計画を定期的に 報告した。	真田産業 観光課
	5-1	40 レンタサイ クル推進事 業	自動車からレ ンタサイクル に乗り換え二 酸化炭素を減 量する。	レンタサイクル利用でエコ な観光施設巡りを体験し、 環境負荷軽減に貢献しよ う。	ゆきむら夢工房を拠 点に、レンタサイク ルで観光施設を巡 る。	レンタサイクルの利用 実績 平成26年度 延べ750 台	○	利用状況が平成25年 度と同等（約450 台）のため、今年度 目標よりやや遅れて いる。	真田産業 観光課
	4-3	41 道路建設工 事（歩道設 置）	人にやさしい まちづくり	歩道設置を推進します	・歩道新設 L=280m (今年度の事業であるが普 平での施工となるため、歩 道完成は来年度となる。) ・繰越事業 歩道新設 L=176m 11月完成予定	・早期発注に努め、環 境に配慮しつつ安全に 工事を施工する。	◎	・繰越事業の歩道新設 L=176mは 11月完成を目標に予定しており進め ており、80%完了している。 ・今年度事業は発注の手続きを進 めており、11月には請負契約を締 結する予定。歩道完成は、繰越手 続きを行い、来年度となる。	真田建設 課
	1-2	42 公共下水道 事業	きれいな水と 環境保全を確 保	公共下水道事業	○処理場の整備 ①菅平浄化センター 計装更新工事 ②自家発電機設備更新実施 設計 ③受変電機設備更新実施 設計	○処理場の整備 ①菅平浄化センター 計装更新工事 ②自家発電機設備更新実施 設計 ③受変電機設備更新実施 設計	◎	ポンプ更新設計（繰越 分）完了ポンプ更新工事 日本下水道事業団と協定 済 自家発電機、受変電機設 備設計日本下水道事業団 と協定済	真田上下 水道課
	1-2	43 老朽管布設 替	水資源の有効 活用	有収率の向上	老朽管布設替	老朽管布設替完了	◎	市道原野地2号線橋 梁架け替えに伴う配 水管工事完了 市道別荘48号線・52 号線配水管工事発注 済	真田上下 水道課
	IV-2	61 武石地域全 域公園化構 想による地 域づくり	すぐれた景観 の保全	桜並木の維持管理を推し進 め、緑の空間の保全	緑の景観づくりを目 指す。	桜 植栽(オオヤマザ クラ) 40本 テング巢羅病対策(ソ メイヨシノ) 40本	◎	当初作業計画どおり H 26.6.30までに完了。	武石建設 課
	3-2	66 省エネに努め るエコ事業所	職員、指導員及び通所利用 者の環境負荷の軽減に向け た意識の変革	施設内の環境整備に 努め、節電、節水、 燃料の削減に努め る。	ガソリン トータル5,000ℓ 月平均420ℓ 軽油 トータル2,800ℓ 月平均235ℓ 石油 トータル4,000ℓ 月平均333ℓ 電気 トータル25,000 Kw 月平均2,083Kw 水道 トータル500m 3 月平均42m3	ガソリン トータル1,715 ℓ 月平均286ℓ 軽油 トータル1,359 ℓ 月平均227ℓ 石油 トータル0 ℓ 月平均0ℓ 電気 トータル8,734 Kw 月平均1,456 Kw 水道 トータル278 m3 月平均46m 3	◎		社会就労 センター 武石事業 所